

あかね



令和5年2月24日(金)発行
薩摩川内市立川内北中学校
自主 友愛 奉仕 鍛錬
文責：校長 感王寺 等

自分らしく

職員室前の梅の木が紅白の花をまとい、登校する生徒たちを優しく迎えています。冬の間は葉を落とし枯れたようにも見えますが、厳しい寒さに耐えながら花を咲かせる準備をしていたのかと思うと、梅の木の生命力に感動さえ覚えます。公立高校入試を目前に控えた3年生は、まさに花を咲かせる直前の梅の木といったところでしょうか、体調管理に気を配りながら、最後の頑張りに力を尽くし、夢をかなえてほしいと願わずにはいられません。



さて、あと一月もすれば、梅に代わり桜が春の訪れを告げることとなります。梅の花と桜の花とどちらが美しいか、好みは分かれるのかもしれませんが、梅には梅の、桜には桜の美しさがあり、比べる必要はないのではないかと思います。また、梅が「私は桜のように花びらを空いっぱい舞わせたい。」と思ったり、桜が「私は梅のようにもっと早く花を咲かせたい。」と思ったりしても、それは叶わないことです。梅には梅の桜には桜の良さがあるので、自分の良さを知って、自分の花を咲かせることが命を輝かせることではないかと思います。

学年末試験も終わりましたが、試験の結果も同様です。友達と比べる必要はありません。自分の結果に向き合い、自分の取組を振り返り、間違った問題が少しでもできるようになるよう努力してほしいと思います。何もしなければ、花は咲きません。じっと寒さに耐えているだけのように見える樹木も、一生懸命栄養を蓄え、花を咲かせる準備をしているのです。その時々を一生懸命生きる先にこそ、未来が輝くのですから。

鹿児島学習定着度調査

先月の17日(火)・18日(水)に実施した鹿児島学習定着度調査の結果が分かりました。県との比較は2月中旬の結果ですので、最終的な結果と差があるかもしれませんが、ほぼ変わらないと思います。教科ごとの結果下の表のとおりです。

○ 全体の通過率

	1年		2年	
	本校	県比	本校	県比
国語	67.3	-3.1	67.0	-4.0
社会	73.2	+4.8	50.4	-4.5
数学	69.7	-1.2	70.1	-2.5
理科	58.9	-4.3	58.4	-4.1
英語	70.4	-5.3	62.0	-5.8

御覧の通り、1年の社会以外は県平均を上回ることができませんでした。教科によっては5ポイント前後の差がありますので、学校も生徒も努力しなければなりません。ただし、下の表からは取組の成果が表れているところもあります。

○ 知識・技能と思考・判断・表現の通過率

	1年		2年	
	知・技	思・判・表	知・技	思・判・表
国語	71.0	64.2	53.9	76.1
社会	74.1	71.4	53.5	44.2
数学	81.2	50.0	78.0	58.1
理科	64.3	50.0	65.2	45.6
英語	71.4	68.9	67.5	53.3

※ 知識・技能： 基礎・基本的な問題

※ 思考・判断・表現： 知識・技能を生かして回答する応用的な問題

全体の通過率を基礎・基本(知・技)と活用する力(思・判・表)に分けてみると、県平均に到達していない教科の中でも、1年国語や1,2年の数学は、基礎・基本が定着しており、2年国語の活用の力は付いています。その他領域的に見れば、成果と課題も明確です。先日の校内研修では、教科ごとに、通過率の低かった問題を受け、今年度中にどう対応するか検討しました。

○ 国語

- ・ 基本的な部首名の確認と復習
- ・ 言葉の単位の確認・復習(単語分け)
- ・ 文の成分の確認・復習(修飾・被修飾語の関係)
- ・ 用語の活用の確認・復習(動詞の活用形)

身なりを正し、ゆとりを持って登校しよう。

○ 社会

- ・ 学級ごとに通過率の低い問題を解説する。
- ・ 全体的に通過率の低かった問題は、教え合いを行い理解させる。
- ・ 定期考査でも再度出題し、確認する。

○ 数学

- ・ 通利率の低い問題は解説し、再度解かせる。
- ・ 説明する問題の通過率が低いので、授業の目当てやまとめの際、生徒に考えさせる。
- ・ 問題文の必要な個所に印をつけさせる。
- ・ ドリル形式で復習させる。

○ 理科

- ・ 1年の地層(小学校の内容)の問題の通過率が低かったので、これから学ぶ単元で復習する。
- ・ 2年の原子や分子、電気などの目に見えない分野の通過率が低かったので、モデルを使ってイメージを持たせながら理解させる。

○ 英語

- ・ 書くことに主眼を置き、条件英作文や自由作文に力を入れる。
- ・ 長文問題に取り組みさせる。
- ・ 添削指導に力を入れる。
- ・ 帯活動で、リスニング問題に取り組みさせる。
- ・ 語彙力をつけ、まとまりのある内容の英文に慣れさせる。

○ その他

- ・ 通過率の低い問題は無答率が高い傾向にあるので、すぐあきらめずに解くように指導する。
※ これからの社会に通用する力を付けるために、高校入試も含め問題文が長くなっています。問題を読んで、何を求められているのか捉えられないと回答できない問題です。長い文章の問題を最後まで読んで、じっくり考えることが求められています。問題文で分かっていること、ポイントになるところにアンダーラインを引きながら、根気強く読み取る力を付けさせたいものです。
- ・ 先生の説明が長い授業より、自分たちで課題を解決する授業にやりがいを感じています。自己解決に対する意欲を学力向上につなげられるよう取り組んでいきます。
※ 学習指導要領の中でも、基礎・基本の定着の上に、思考・判断・表現する力が求められています。そのためには、多面的・多角的に考えるために、対話による深い学びが必要です。ペアやグループ活動を通し、取り組んでいきます。聞く力、話す力が大切ですので、家庭でも色々なことを話題に対話していただければと思います。



いじめを許さない学校へ



生徒会生活部の活動として、ピンクシャツデーを実施しました。ピンクシャツデーとは、カナダの学校でピンクのシャツを着て登校した男子生徒がいじめられたことに対し、抗議の意志を示すために、生徒みんながピンクのシャツを着て登校したことに始まるいじめを許さない意思を示す運動です。本校では、ピンクのシャツを着る代わりに、ピンク色のTシャツの型紙にメッセージを書いて掲示する形で実施しました。メッセージの相手は、①いじめを受けている人へ、②いじめている人へ、③いじめを見ている人への3つから選択し、自分の気持ちや考えを書きました。現在、学年ごとに階段等へ掲示してあります。1, 2年の学年末PTAの日まで掲示する予定ですので、是非ご覧ください。

県下一周駅伝

県下一周駅伝第70回記念大会が、日置チームの総合優勝で22日(水)に幕を閉じました。記念大会である今回は、大会二日目19日(日)1区のスタートに中学生区間が設けられ、川薩チームには本校3年生の紙屋綾杜さんが出場しました。雨上がりの肌寒い中でしたが、南さつま市役所から阿多小学校までの3.2kmで力走を見せました。



写真はゴールまで約1kmの上り坂となる松田バス停付近。同世代のライバルと共に走り抜ける中学生の姿に、沿道からは大きな声援が送られました。20日(月)の南日本新聞には、本人のインタビューも掲載されています。天晴れ!

時間いっぱい無言清掃に取り組み、奉仕の心と責任感を育てよう。